



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

第40回アメリカ生殖学会 (40th Annual Meeting of the Society for the Study of Reproduction) に参加及び発表

著者	村山 千明
雑誌名	帯広畜産大学後援会報告
巻	36
ページ	49-51
発行年	2008-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1588/00003337/

第40回アメリカ生殖学会（40th Annual Meeting of the Society for the Study of Reproduction）に参加および発表

村山千明

畜産学研究科畜産衛生学専攻動物医科学講座（博士前期課程1年）

1. 目 的

40th Annual Meeting of the society for the study of reproduction（SSR）において、研究発表することが目的である。SSRはアメリカを代表する生殖学会であり、世界中からの著名な研究者が多数参加する。その中で、自分がこれまで研究してきたウシ卵胞膜細胞の黄体細胞への分化機構に関する研究結果を発表すると同時に、各国の研究者と議論を行うこと、また様々な研究者やグループの研究内容に触れ、積極的な情報交換を行うことが学会出席の目的である。

2. 期 間

平成19年7月18日～平成19年7月28日

3. 場 所

サンアントニオ（アメリカ合衆国）

4. 内 容

サンアントニオはヒューストンの南西約200マイル、メキシコ国境の北150マイルの南中央テキサスに位置している。研修期間であった7月は特に暑い時期であり、日中の外出をためらうような気温だった。テキサスや西部劇のイメージから乾燥した平野を想像していたが、湿度がとても高かった。しかし、暑さも、街の中心を流れる運河「リバーウォーク」の側ではあまり感じられず、観光地として人気があることにも納得できた。またサンアントニオは、テキサス独立戦争時中の1836年2月23日－3月6日の13日間にメキシコ共和国軍と反乱軍の間で行われたアラモの戦いの舞台であるアラモの砦があるアメリカの歴史的場所である。アラモ砦は街の中心に位置し、現在は資料館とし



リバーウォークからの眺め

て保存されている。建物は意外なほど小さく、この場所で13日間もの間、激しい戦いが行われたことが信じられない規模であった。しかし、崩れた壁や建物から170年前の歴史を肌で感じることができた。メキシコに接していることから、人口の半分以上はヒスパニック系の人々が占め、街もメキシコ色が強くでていた。



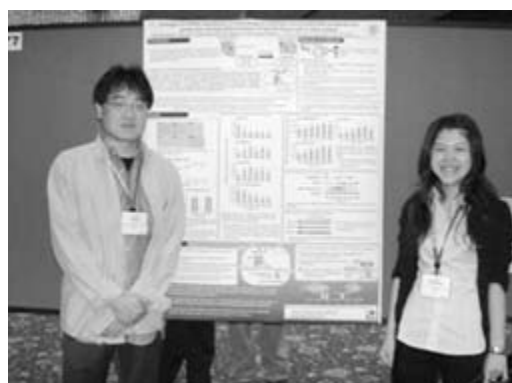
メキシコ風の町並み

学会においては、他の研究グループと、それぞれの研究内容や研究成果についての情報交換や議論を行うことができた。このことは、最新の実験・解析方法の情報を得ることにつながり、今後研究を進めていく上で貴重な体験となった。今回私は、ウシ卵胞膜細胞の黄体化機構の一端を解明することを目的とし、体外培養系の確立と、黄体化の現象と遺伝子発現および転写因子の関係性について報告したが、自分が想像していたより多くの方がポスターを見に来てくださった。私が発表したポスターに興味を持ち、熱心に読んでくださる方や、質問をしてくださった方も多数いた。まだあまり解明されていない分野であるということもあり、基本的な質問から、手技や方法の質問も多く受けたが、私が提示した考察に対する鋭い指摘も受けた。考察に対する指摘には共通した部分があり、これからの研究で明らかにすべきところ、押さえないといけないところなど課題が明白になった。これからの研究において今回の学会で明らかとなった課題をさらに検討すると共に、得た情報を積極的に取り入れていきたい。また、あこがれの研究者の方が自分のポスターを見に来てくださったことは、とても緊張したのと同時に大きな感動があった。世界中の研究者と直接言葉を交わすことができたことは、またとない経験であり、すばらしいことだった。研究に対する姿勢や考え方を感ずることができ、研究に対する意欲がわいた。

学会では、他のパネリストやプレゼンターの発表を聴くのと同時に、著名な研究者の講演を聴くこともできた。プレゼンテーションは、人や国で様々であったが、絵やグラフを活用し、堂々とゆっくり発表しているプレゼンテーションが多く、とても参考になった。しかし、発表や講演を聴くとき、また自分が説明をする時に大きな障害になったのは語学力であった。発表がよく理解できないことや、適切な言葉での質問や応答がスムーズにできず、自分の語学力の足りなさに不安になり、はがゆさを覚えた。これからもっと英語を勉強し、要領よく適切な説明ができるように努力しようと思った。



発表風景



発表直後



口頭発表の会場の様子

今回の40th Annual Meeting of the society for the study of reproduction への参加では、研究内容、語学、知識、プレゼンテーションなど多くのことを学ぶことができ、充実した実りある学会となった。

最後に、この度の学会参加に際して多大なご支援をいただいた帯広畜産大学後援会に心より感謝申し上げます。

キーワード：第40回アメリカ生殖学会，卵胞，サンアントニオ